

令和7年防災功労者内閣総理大臣表彰について

1 趣 旨

防災功労者内閣総理大臣表彰は、災害時における人命救助や被害の拡大防止等の防災活動の実施、平時における防災思想の普及又は防災体制の整備の面で貢献し、特にその功績が顕著であると認められる団体又は個人を表彰するものです。

このたび、当市のキャッセンエリアプラットホーム、大船渡市消防団の2団体が受賞し、令和7年9月17日に内閣総理大臣官邸で表彰式が行われました。

2 受賞団体

(1) キャッセンエリアプラットホーム

（代表者：都市再生推進法人株式会社キャッセン大船渡 代表取締役 田村 満）

キャッセンエリアプラットホームは、手軽に活用できるスマートフォンに音声ARを導入して、震災疑似体験に没入できる仕様で開発した防災学習プログラムにより、避難時のジレンマや葛藤を体感し、避難行動の重要性を気づき、身につけ、自らの命を守り抜ける人の育成を目指しています。

また、プログラムを通じて、災害の経験という有形・無形の資産を活用し、地元の観光資源の再定義と地域の再活性化・高付加価値化に向けて取り組んでいます。

このたび、防災思想の普及での功績が認められたものです。

(2) 大船渡市消防団

（代表者：大船渡市消防団 団長 大田 昌広）

大船渡市消防団は、令和7年2月26日に発生した大船渡市赤崎町合足地内林野火災において、避難指示地域が拡大していく中、迅速かつ懸命な避難誘導及び広報活動を行いました。

また、同年4月7日午後5時30分の鎮火宣言に至るまでの41日間、その活動は多岐にわたり、無水利地区での長距離中継送水、消防署隊と連携し円滑な消火活動を行い、住民の生命・身体・財産を守るために努めたものです。

このたび、災害現場での顕著な防災活動の功績が認められたものです。

3 受賞に対する市長コメント

このたび、防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞された両団体の皆様に、心よりお祝い申し上げます。

それぞれの団体は、震災伝承や地域の防災・減災に大きな貢献をいただいております、その功績が認められたことは、大変うれしく、誇らしく感じています。

今後も、住民が安心して暮らせる災害に強いまちづくりに向けて、市もともに取り組んでまいります。